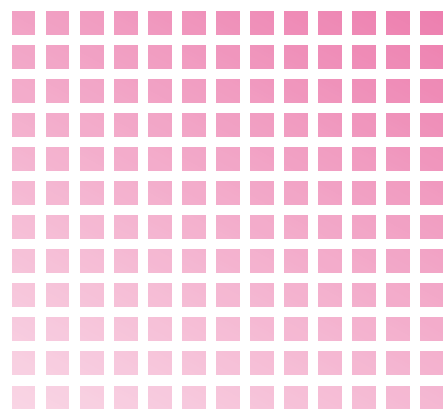


議会だより おかがき

No.125 3月定例会 令和2年4月25日発行



2～5 ● 令和2年度 一般会計予算
12～13 ● 町政を問う

表紙への想い 咲かせよう 笑顔の輪

バランスは改善

※プライマリーバランス：
国や地方自治体などの基礎的な財政収支のこと

定例会

3月

概要

令和2年度予算の特徴

- ①財政調整基金（貯金）減少に歯止め、公債（借金）残高拡大もストップ
- ②幼児教育・保育無償化が本格化
- ③上下水道料金の引き上げ（10月から）

予算の総額
⇒101億3800万円

住民目線で議会が念入りに審査

令和2年第1回定例会が、3月3日から18日まで16日間の会期で開催され、当初予算など数日にわたる集中審議の結果、可決されました。

収入

—自主財源—

1. 町税：町民税、固定資産税、軽自動車税など、住民が町に直接納める地方税です。
2. 使用料・手数料等：各種使用料、手数料や寄附金、分担金など、町有財産の使用に応じて受益者が負担する収入です。
3. 繰入金：基金（貯金）を、目的に沿って使ったり、財源不足の際に引き出して使います。

29億800万円

7億4900万円

3億8400万円

—依存財源—

4. 地方交付税など：一定水準の行政サービスのため、国から交付される地方交付税、各種交付金等です。
5. 国、県支出金：国・県から交付される、使い道の決められたお金です。
6. 公債：住民の負担を複数年化したり、資金不足を賄うための金融機関等からの借入金です。

32億2800万円

22億2900万円

6億4100万円

こう使われます！

支出

1. 議会費：議会運営のための経費です。
2. 総務費：役場の業務を運営するための全般的な経費です。目的に応じ、また不測の事態に備えるための基金への積み立て1億1000万円を含みます。
3. 民生費：障がい者への扶助、介護や児童福祉など、社会福祉全般に使われます。
4. 衛生費：ごみ処理、感染症予防、健康対策などに使われます。
5. 産業関連費：農林水産業、商工業など、町の産業を支援・振興し、活性化するための経費です。
6. 土木・災害対策費：道路や町の施設などを維持管理するため、また災害対策のために使われます。
7. 消防費：広域組合消防施設の負担金や、町の消防団のために使われます。
8. 教育費：小・中学校の運営管理、幼保教育等、町の教育全般に使われる経費です。
9. 公債費：金融機関等からの借入金の返済に使われます。
10. 予備費

1億1400万円

16億2300万円

42億6500万円

7億2200万円

4億3000万円

6億9700万円

5億100万円

10億3400万円

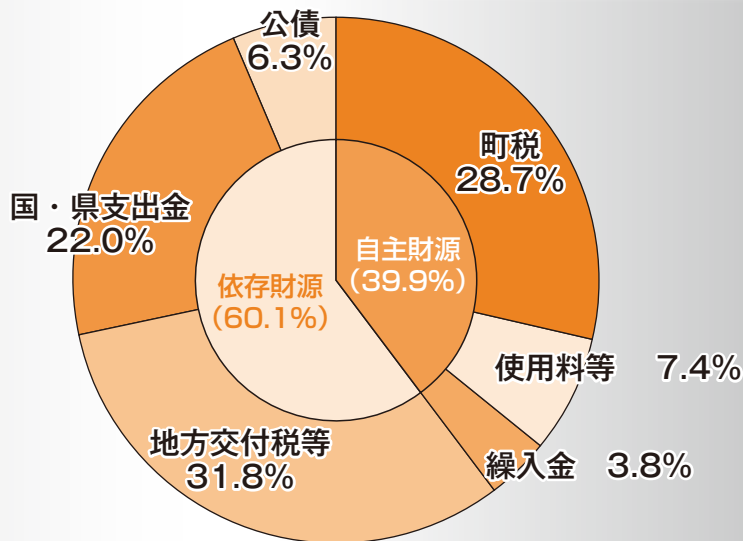
7億3200万円

2000万円

令和2年度

一般会計予算、プライマリー

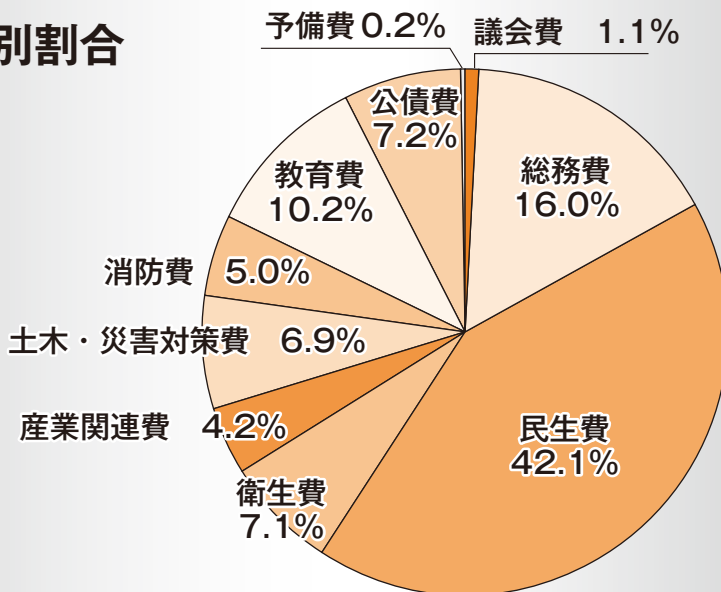
収入の項目別割合



収入の特徴

○収入の割合は、概ね自主財源4：依存財源6となっており、国のや県からの交付金等に多くを依存しています。自主財源の割合を高め、安定的な財務基盤を構築することが今後の課題と言えます。

支出の項目別割合



支出の特徴

○少子高齢化の進展に伴い、医療・介護費等、民生費の割合が年々増加しています。

【会計別予算額】

		令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	前年比
一般会計		101 億 3800 万円	99 億 9200 万円	101.5%
会特別計	国民健康保険	33 億 2238 万円	34 億 7759 万円	95.5%
	後期高齢者医療	6 億 301 万円	5 億 9455 万円	101.4%
	住宅新築資金	—	42 万円	—
企公業営	水道事業	5 億 5136 万円	5 億 474 万円	109.2%
	下水道事業	10 億 1193 万円	9 億 8323 万円	102.9%

※公営企業会計は収益的・資本的があります。この表は収益的予算を記載しています

英語教育の充実

【5・6年生が使う教科書】



- Q 小学校の英語授業時間の増加にどう対応されますか。
- A すべての英語授業に英語外部講師を配置します。

定例会

3月

概要

令和2年度 特色ある取り組み

子育て支援をさらに拡充

【子どものスペース】

昨年10月に、子育て世代包括支援センターが健康づくり課に設置されました。同時に、子ども家庭総合支援拠点がこども未来課に設置されました。

これは、母子保健や子育て相談、子育て支援を連携して妊娠期から子育て期までを切れ目ない支援につなげること、また全国的にふえている児童虐待などの事業に対応することを目的としたものです。



4月1日から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合拠点の機能を一体的に担う「子育てあんしん課」が設置されました。子どもの育ちの不安、子どもを取り巻く問題にきめ細やかな支援・対応ができるよう子育て世代に寄り添い、ワンストップでの支援施策が進められます。

- Q 子育てあんしん課を設置して子育て支援を拡充するということですが、どのようなことを行うのですか。
- A SNSを活用した子育て情報の周知や小中学校を担当する子ども家庭支援員を役場内に配置し、子どもや保護者、学校からの相談や支援を充実させます。
- Q 子どもを連れて行って、込み入った相談はできますか。
- A 子育てあんしん課の一角に、子どもが過ごすことができるスペースを設けています。
- Q 子育ての些細な^{ささい}なことでも相談できますか。
- A まずは子育てあんしん課にご相談ください。一緒に考えます。また、相談室も設けています。

ハザードマップの更新

【現在のハザードマップ】



令和元年5月に福岡県が矢矧川の洪水浸水想定の見直しを行うなど、災害危険箇所が変更となったためハザードマップを更新します。



- Q ハザードマップの配布対象は。
 A 全世帯です。また、今後、転入された方にも配布します。
 Q パソコンやスマートフォンなどからも見ることができるのですか。
 A 町公式ホームページに掲載しています。また更新時にWEB版を作成予定です。

コンビニでもスマホでも 支払OKに

【納付書の例】



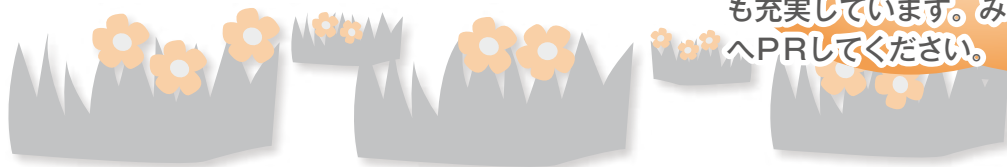
4月から住民税や水道料金をコンビニで支払うことができます。また、電子決済サービスも利用できるようになります。

ふるさと納税の充実

【はかた地どり水炊きセット】



寄附金の目標額は、8000万円（昨年度当初予算4000万円）です。返礼品も充実しています。みなさんも町外の方へPRしてください。



ギガスクールに向けて！

概要

令和元年度

補正
予算

令和元年12月13日に閣議決定された令和元年度補正予算案において、児童生徒に1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が盛り込まれました。

岡垣町でも補正予算が上程（議案第33号）され、全員賛成で可決されました。（関連P7）

予算は次年度に繰り越しを行い、令和2年度から5年計画で整備します。



小中学校に通信ネットワークを整備へ

賛成

並行して教員を増やす
取り組みを

平山 正法 議員

GIGAスクール構想は、メリットもある反面、デメリットもある。それは、公教育へ企業の参入を進め、集团的な学びが疎かにされ、教育の画一化につながるおそれがあることである。また、児童・生徒がルールを守って安全に使用できるのが課題となる。

その中、教員は今でも多忙なのに、負担が増えてしまうことは明らかである。

正規の教員を増やし、一人当たりの子どもの数を減らすことは、行き届いた教育のためにも重要である。

教育長が、県に対して教員の増加を常に求めているという答弁を聞き、その実現に期待して賛成する。

情報リテラシーの強化

広渡 輝男 議員

各小中学校の校内通信ネットワーク整備と児童生徒一人一台端末の整備を進めるとしてGIGAスクール構想の実現を目指した事業の補正予算である。情報化社会の進展に伴う教育環境の充実へ向けた取り組みは重要だが、一方で、情報リテラシーの低さから背負うリスクが数多く発生していることも現実である。家庭でも親子で情報リテラシーについて学び、情報活用能力を育成していくことが必要である。

そのためには、情報プラザ「人の駅」を本来の情報リテラシーの教育・生涯学習の拠点として活用されることを強く求めて賛成する。

将来を担う子ども達のため

川地 啓輔 議員

今後の初等中等教育において新たな時代（ソサエティ5.0）を担う人材の教育や一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を速やかに整備しなければならぬ。PC端末は、我々世代が鉛筆やノートを持っていたように、一人一台が令和の時代における学校のスタンダードとなるだろう。これまでの実践とICTとの融合を図っていくことにより、子どもたちには公正に創造性を育む学びに寄与し、統合型校務支援システムと連動し、教員の授業準備や成績処理等の負担軽減にも資するもので、教員の働き方改革にもつながると考え賛成する。



議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	木原大輔	市津広海	太田清人	曾宮良壽	太田強	平山正法	横山貴子	安里雅恵	神崎宣昭	三浦進	広渡輝男	川地啓輔
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3/3	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3/3	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3/3	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3/3	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町特別会計条例を廃止する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町観光施設臨海荘設置条例を廃止する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町課設置条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町印鑑条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町の単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町手数料条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町農業及び漁業集落排水施設条例を廃止する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町農業及び漁業集落排水事業受益者分担金に関する条例を廃止する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町水道事業給水条例の一部を改正する条例	3/5	賛成多数可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町下水道条例の一部を改正する条例	3/5	賛成多数可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
住居表示に伴う町及び字の区域の変更について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町一般会計補正予算（第4号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町水道事業会計補正予算（第3号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町下水道事業会計補正予算（第2号）	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 岡垣町一般会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

令和2年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	3/18	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 岡垣町水道事業会計予算	3/18	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 岡垣町下水道事業会計予算	3/18	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
権利の放棄について	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定について	3/5	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度 岡垣町一般会計補正予算（第5号）	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

令和2年度 一般会計予算

反対

住民の暮らしを守る役割を

平山 正法 議員

町は住民の暮らしと命を守る役割を果たさなければならぬ。

昨年10月から実施された消費税の引き上げや新型コロナウイルスの影響で、住民や事業者から、生活が苦しいと言った声が出ている。また、高齢者にとっては、年金の削減、介護保険料や後期高齢者医療保険料が高く、厳しい生活を余儀なくされている。

その中、行政改革で、サンリーアイや情報プラザ人の駅の使用料金が引き上げられる。また、10月からは、上下水道料金が引き上げとなる。これらは、住民の福祉の増進を後退させるものである。住民の暮らしを守る立場からも反対する。

賛成

住みよさをより高める

太田 強 議員

宮内町政は、ここ数年財政調整基金の残高を維持すること、町債残高を増加させないという目標のもとに、一般財源の確保と経常的経費の削減に取り組まれ、成果を上げた。

民生費と教育費において前年より大幅な増となっているが、子育てと教育の充実は、現況避けて通れない。中学校のトイレ改修などの整備や、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を一体的に担う目的で新たに子育てあんしん課が設置される。これは岡垣町の住みよさをより高める施策であり、その成果が岡垣町の人口増につながるものと期待して賛成する。

財政基盤の強化が課題

広渡 輝男 議員

歳出予算の財源不足を補う財源である財政調整基金は、平成30年度決算では16億8千万円、一方、地方債の累計は83億円と厳しい財政状況にある。しかし特定目的の基金から繰り入れの予算として財政のプライマリーバランスと今後の発展性へ向けた取り組みへの展望から令和2年度は力をためる予算であると評価する。歳出は、子育て支援施策の拡充、農林水産業基盤の整備、コンパクトなまちづくりを推進する立地適正化計画、ハザードマップの改編、中西部地域の活性化策など、元気で生き生きとしたまちづくりを目指した予算であり賛成する。

子育てあんしん課に期待

安里 雅恵 議員

4月から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合拠点の機能を一体的に担う子育てあんしん課が設置される。

特に初めての子育てをする親にとって、どんな小さなことでも聞いてもらえると安心する。

悩んだ時に子育てあんしん課に行ったら話を聞いてもらえる。これからも、来られる方の心に寄りそった、細やかで暖かな対応をしていただきたい。

また、広く住民の声が集まる場所として機能するため、広報やHP、ラインを用いて周知をお願いしたい。新しい設置課に期待して賛成する。

どの世代にも配慮

川地 啓輔 議員

定住促進の取り組みとして、子育てあんしん課を設置することにより、妊娠期から子育て期の支援施策をより効果的・効果的に進めるほか、小中学校の改修工事やICT環境の整備を早急に行うなど、次世代の子どもたちのことを見据えた取り組みは大変評価できる。

同時に、介護予防・日常生活支援総合事業や認知症施策等を推進していくことなど、どの年齢層にも安心な環境で生活できるように取り組んでいる。また、コンパクトなまちづくり、農林商工業にも配慮され、総合的にバランスのとれたものである。

行政改革に一定の成果

太田 清人 議員

令和2年度の予算編成に当たっては、従来慢性的な資金不足で取り崩しが続いていた財政調整基金を減らすことなく、また、予算上は公債残高も減少するといった財務バランスの改善が見られる。

さらに、行政改革に掲げる補助金の削減や需用費（消耗品等）の節約努力も随所に見受けられ、不断の改革実行は評価されるべきと考える。

編成は、事業ごとの収入・支出のバランスも適正で、大きな懸念はないと判断される。一部の団体に対する補助金見直しが未了など改革途上のものもあるものの、令和2年度までの改革の完遂への期待を含め、賛成する。

今後の行政改革に期待

木原 大輔 議員

今回の一般会計予算では、近年、財政調整基金が減少している中、基金を取り崩すことなく財源の調整を実行している。これも行政改革推進計画と公共施設等総合管理計画の成果のあらわれである。

また、人口減少問題や高齢化問題に対応したコンパクトシティ構想のための立地適正化計画を策定するとし、積極的に国家予算からの補助金を活用しようという方向性を示している。

子育て世代支援の強化の取り組みでは、新たに子育てあんしん課を設置し、子育て政策の充実を図っており、さらなる行政改革に期待し賛成する。



住みよいまちづくりに向けて

岡垣町国民健康保険事業特別会計予算

■**保険加入者減少により予算規模減少**：75歳以上の方は、後期高齢者医療保険に移行するため国保加入者は減少しています。

■**国民健康保険とは**：皆さんが病気やケガをしたときに安心して医療を受けられるようにつくられた社会保障制度です。加入者は日ごろから国民健康保険税を納めることで、医療機関にかかったときの医療費の支払いについて、一部の費用を負担するだけで済みます。

国民健康保険制度は、平成29年までは市町村が主体となっていた行われていましたが、国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年度からはこれまでの市町村に加え、都道府県も国民健康保険制度を担うことになりました。

これによって、都道府県内で保険料（税）負担を公平に支え合うため、都道府県が市町村ごとの医療費水準や所得水準に応じた国保事業納付金（保険料負担）の額を決定し、保険給付に必要な費用を全額、交付金として市町村に対して支払います。これにより、市町村の国保財政は従来と比べて大きく安定します。

（賛成反対表は7ページへ）

反対

値上げにつながる

平山 正法 議員

国民健康保険の加入者は、自営業者、農業や漁業者、非正規雇用者、年金生活者などで構成されている。

昨年10月に消費税が10%に引き上げられ、新型コロナウイルスの影響で、国民健康保険税はさらに大きな負担となる。

国民健康保険の構造的な問題を解決し、重い負担の国民健康保険税を引き下げ、国が十分な公費を投入するしかない。

国民健康保険税の基準となる納付金は県が決め、それに基づいて町は納付金を全額納めなければならぬ。そのため、国民健康保険税の値上げにつながる仕組みであることから反対する。

賛成

社会保障制度上必要な予算

太田 清人 議員

当予算は、町民の医療に対する保険給付を主な目的としており、社会保障制度上欠くことのできないものである。

この保険給付は、高齢化の進展を主な背景として、一人一人の給付金の上昇は見られるが、一方で国民健康保険加入者は減少しており、総額も減少している。

今後、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題をどう乗り切るかが大きな課題とされている。

それに向け、今後国民健康保険税のあり方等の協議もなされていくという将来的な議論に対する期待も含め、予算編成については妥当と判断されるため、賛成する。

国保制度の持続のために

安里 雅恵 議員

平成30年度から国民健康保険の制度が変わり、県と県内市町村との広域化で運営をすることになった。

これまでは町で運営を行い、一般会計からの繰出金を財源とすることで国保加入者の負担は軽減されていた。国保運営が広域化されたことにより一人一人がしっかりと負担割合を担っていかないとなくなってしまう。

だからこそ、福岡県国民健康保険運営協議会に対して、必要がある時には岡垣町の現状を伝え意見していただきたい。

私たちの命や健康を守るための制度を持続可能にしておくために賛成する。

上下水道料金が改定されます

議案第 17 号は水道料金の改定、議案第 18 号は下水道料金の改定
議案第 29 号は水道事業会計予算、議案第 30 号は下水道事業会計予算

■ 10 月から上下水道料金が引き上げられます

水道管や浄水場、下水道管や浄化センターの施設の老朽化による更新と耐震化に必要な事業費用に対して、人口減少による料金収入が不足する状況が見込まれるための料金改定です。

(賛成反対表は 7・8 ページへ)



反対

公営企業の福祉増進に
反する

平山 正法 議員

老朽管路や施設等の更新が必要なことは理解している。しかし、消費税が引き上げられ、景気の悪化が深刻になっている状況で、料金が値上げになれば、生活弱者にとって、負担増となる。

平成 26 年に施行された水循環基本法の理念は、水は憲法 25 条が保障する生存権に関わるものだとしている。

このことから、水道が福祉である限り、国が公的資金を用意し、必要な財政補助を行った上で、料金値上げを利用者に理解してもらう努力がなければならない。

地方公営企業の公共の福祉増進の努力を行う責務に反するため反対する。

賛成

安定的な供給のために

川地 啓輔 議員

浄水場の施設や町内を張りめぐらせている配水管の老朽化がかなり進んでいる。その修繕も含め、また収入のメインである料金収入が年々減っている中で、適正に計画された予算であると考えられる。

料金改正は平成 2 年から約 30 年行われておらず、町の人口も微減が続く中で、基本インフラの一つである水道水の安定的な供給も行うための、それが将来的にも続くように配慮された予算であると考え賛成する。

同時に我々議会も、今回改正の水道料金がその趣旨になっているものであるかどうか、今後十分に検証していく必要があると考える。

計画的な施設更新を

太田 清人 議員

岡垣町の下水道事業会計は、町からの補助金に収入の多くを依存する、という特徴がある。

厳しい財政運営を迫られている町の財政負担を軽くすることとあわせ、水道事業同様、管路や処理場といった大きな設備投資は、相当期間が経過しており、更新の時期を迎えている。町民の重要な基本インフラの下水施設の安定運営を行うには、計画的な設備投資対応が欠かせない。

今後十分な検証が必要であるが、本予算は関係条例改正とあわせ、編成についても特段の問題はないと判断されるため、賛成する。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員氏名	内 容
12	太田 清人	1. 平成 30 年 2 月に策定した岡垣町行政改革推進計画の進捗状況、現在までの成果等について（その 2） 2. 事務事業評価のあり方について
13	平山 正法	1. 地域医療構想について ◇ 2. 新型コロナウイルスについて
13	曾宮 良壽	1. 次期総合計画策定について（その 3）

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です



太田 清人 議員

議員

行政改革、事務の効率化等は

町長 事務事業評価の改善等、
取組み中

太田 現在の決算書付属資料「主要な施策の成果報告」は、事務事業評価のプロセスが見えにくい。事業結果をより検証できるよう、内容を充実する必要があると思いますが、どう考えていますか。

町長 事務事業評価制度は、財源の有効活用と住民への説明責任を果たすため実施しているものです。現在は、行政サービスの「量」を示したものが大半であるため、詳細を確認する各課ヒアリングを実施しています。事務事業評価の一部は決算認定の審議の資料に活用しているため常に内容改善に努めています。

太田 役場の事業では、ライフラインである水道事業など、生命維持や生活に密着した事業は外部委託しづらいと思いますが、民営化の検討はどこまで進んでいますか。

町長 住民生活に欠かせないライフラインを民間委託することは考えていません。

窓口業務等の民間委託について、現在調査研究を重ねてはいますが、コス

ト面や効率性などに多くの課題があることが分かってきました。

太田 超低金利が続く中で、基金の債券による運用が行われています。極めてリスクとリターンが見合わない状況ですが、債券運用のリスクを認識し、必要なリスク管理を行っていますか。

町長 債券運用には上限金額を設けているほか、信用リスク、価格変動リスク等については会計管理者を通じ、常に情報収集し管理を行っています。不測の事態に備えた対応や、組織体制など、より安全な運用ができるよう検討してまいります。



「施策の成果報告」は役場玄関横の情報開示コーナーにて閲覧できます



平山 正法 議員

議員

地域医療を守る

町長

継続に努める

【平山】 昨年9月、厚生労働省によって

地域医療構想に沿っての、全国の公立・公的医療機関を対象に再編統合の必要性について再検証が行われました。その結果、再検討を要請する病院名が公表されましたが、県内では12の病院が対象とされ、中間・遠賀地域では、遠賀中間医師会おんが病院も対象となっています。厚生労働省が発表した再編統合について町の見解を求めます。

【町長】 厚生労働省は、一定の指標によって機械的に抽出し、地域の議論を活性化する目的で公表したもので、医療機関そのものの統廃合を決めるものではなく、その病院に対し何かを強制するのではないと説明しています。しかし、医師会でもこの唐突な発表に疑問を感じており、各病院も同様であると聞いています。

【平山】 おんが病院は、医療と介護の両面から地域に貢献をしている病院です。地域医療を守ることは、病院で働く人々の雇用も守る事にもつながります。地域医療を守るための声を上げるべきではありませんか。



地域医療支援病院は必要不可欠

【町長】 おんが病院は、地域医療支援病院として、救急医療の提供や医療機関の共同利用の実施、地域の医療従事者に対する研修を実施しています。また、休日・急患センターや病児・病後児保育などを委託しており、遠賀・中間地域にとって重要な医療機関の一つです。岡垣町の住民の利用も多く、欠かせない医療機関だと考えています。今後関係機関と情報の共有を図るとともに、地域医療が継続されるよう努めてまいります。



曽宮 良壽 議員

議員

校区コミュニティの将来は

町長

協働によるまちづくりを

【曽宮】 国土のグランドデザイン2050は、国土交通省が策定した2050

年を見据えた国土づくりの理念や考え方を示したものです。次期総合計画策定の中でどう位置づけられるのですか。

【町長】 国土のグランドデザイン2050の中で整理されている人口減少や少子高齢化、巨大災害の切迫やインフラの老朽化などの課題への対応や基本的な考え方や等で触れられている都市のコンパクト化など、次期総合計画では、それらの要素を踏まえたものとなると考えています。また、計画のみならず、施策の検討、実施に当たっても考慮しておくべきであると考えています。

【曽宮】 次期総合計画策定に向けて、将来の校区コミュニティのあり方については町としてどのように考えていますか。

【町長】 第5次総合計画において、計画の推進のためのまちづくりの基本方針のひとつに協働のまちづくりを掲げ、住民・行政がともに創造するまちづくりに取り組んでいます。

また、国土のグランドデザイン2050でも触れられている人口減少社会

の到来や、近年多発する自然災害の状況下では、自治区や校区コミュニティ、各種団体との協働・連携が必要不可欠です。
今後、これらの団体と話し合いの場を設け、十分に協議を重ねながら、協働によるまちづくりを進めていく必要があることから、次期総合計画でも第5次総合計画と同様に住民との協働による、まちづくりを掲げていくべきものと考えています。



子どもたちの安全のために

委員会視察研修・活動レポート

意見交換会を行いました

総務産業常任委員会

平成28年3月に策定された「岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本視点には、「住みたいまち岡垣の推進」、「住み続けたい（帰ってきたい）まち岡垣の推進」を掲げて、新しい人の流れをつくるとしています。そのために町外者の岡垣町に対する認知関心を深める、岡垣町の魅力を発信する、観光交流の拡大により岡垣町に訪れる機会をつくる・そして岡垣町の定住を促進することを目標としています。岡垣町が積極的に取り組むことはもちろんですが、岡垣町観光協会が担う役割は極めて重要です。

こうした背景から、2月13日に観光ステーション北斗七星において岡垣町観光協会理事との意見交換会を実施しました。議題は「観光協会が目指す当面の課題と対応策について」を主題

に、現在、観光協会が取り組んでいる事業の概要の説明や、議会が取り組んできた中西部地域の活性化の調査報告書の概要の説明などを中心に積極的な意見



観光協会との意見交換会

交換を行いました。

また今後の課題の一つでもある響灘サイクリングロードのさらなる活用についても様々な角度からの意見があり、有意義な

交換会となりました。

引き続き観光振興に向けての調査研究を行い、中西部地域の活性化へ向けた委員会活動に生かしてまいります。

住民懇談会が評価されました

熊本県氷川町議会視察受け入れ

議会広報常任委員会

1月27日、熊本県氷川町議会の議会広報調査特別委員会の皆さんが、先進地視察で岡垣町議会に視察に来られました。

視察の目的は、わが町の議会住民懇談会及び議会だよりの編集を参考にしたい、とのこと、所管である議会広報常任委員会が対応しました。

当委員会では、視察の受け入れに対応するために、パワーポイントなどの資料を作成のうえ、当日は、その資料を使い、説明を行いました。

あわせて、住民懇談会の内容を収めた動画を一部紹介したのちに、活発な意見交換を行いました。

岡垣町議会を視察先に選定された理由は、住民懇談会と議会だよりの編集を同じ委員会が行っていることでした。

中でも、住民懇談会ではグループ討論方式で住民が主役となっており、発言していること、議会だよりの写真が多くて見やすい紙面になっていることなどについて、高い評価を受けました。

議会の動き

前回定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
1月 9日	文教厚生協 議 会	閉会中の継続調査について
1月15日	研 修 会	町村議会議員研修会
1月23日	議会広報	議会だより編集、視察受け入れ準備
1月24日	文教厚生協 議 会	閉会中の継続調査について
1月27日	議会広報	熊本県氷川町議会視察受け入れ
2月 7日	文教厚生協 議 会	乳幼児の預り所・子どもの遊び場について、サンリーアイの活性化について
2月13日	総務産業	岡垣町観光協会との意見交換会
2月18日	議会運営	令和 2 年第 1 回定例会
2月27日	総務産業協 議 会	地方創生についてほか
3月 3日 ～18日	本 会 議	令和 2 年第 1 回定例会(16 日間) 本会議・一般質問・委員会（連合審査会）・全員協議会
3月18日	議会広報	議会だより編集
3月31日	議会広報	議会だより編集
4月 6日	議会広報	議会だより編集

また、私たちも氷川町から多くのことを学ぶことができました。

今後、議会だよりは住民の皆様から読みやすいと思ってもらえる紙面づくりを目指すと同時に、住民懇談会では、皆様が見解を出しやすいような企画や運営に努めていきます。

さらに、委員会がきちんと意見の分析を行ったうえで、町に対して意見が反映されるよう働きかけるなど、積極的に活動してまいります。



活発な意見交換ができました

自治功勞者表彰

太田強議員の永年にわたる議員活動が認められ、全国町村議会議長会及び福岡県町村議会議長会から自治功労者表彰（15年）を受けられました。



どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

6月10日(水)
開会の予定

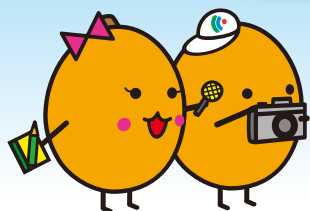
会議録を
閲覧してみませんか

岡垣町議会ホームページ
http://www.town.okagaki.lg.jp/090/



發行責任者	議長 長森山浩二	議会議決事項 議会広報常任委員会	委員長 平山正法	副委員長 太田清人	委員 木原大輔	委員 安里雅恵	委員 三浦進	委員 川地啓輔
-------	-------------	----------------------------	-------------	--------------	------------	------------	-----------	------------

びわりんびわすけの



ちいきのちから

団体紹介：第1回 ～山田校区子ども見守り活動実行委員会～

今回から新企画がスタートします！！岡垣町で頑張っている団体の皆さんに取材を行い、活動の内容や議会への要望などを取材していきます。

今日も見守り活動しています

子ども見守り活動は、すべての校区で行われていますが、今回は山田校区子ども見守り活動実行委員会の皆さんを取材しました。



(取材日)
令和2年2月10日
(写真右から)
永 渕 会 長
中 村 副 会 長
友廣事務局長

Q どんな活動をされていますか？

A 下校時、約1時間程度、通学路上の概ね200 mから300 mごとに見守り場所を定めて、切れ目のないよう地元自治区の人に見守っていただいています。

Q いちばん嬉しかったことは何ですか？

A 小学校を卒業し、子どもたちが成長しても元気に挨拶してくれることがいちばん嬉しいです。

Q 岡垣町や町議会に望むことは何ですか？

A いつ大きな事件が起こるかわかりませんので、危機管理を充実してほしいです。



山田校区子ども見守り活動実行委員会は、校区コミュニティ、校区育成会、山田小学校、山田小PTAの4つの団体で形成されています。平成28年9月から、山田校区子ども見守り隊として活動を開始して約3年半が経過しました。

活動を始めてから、町内の犯罪情報は減少しており、見守り活動を続けていくことで一定の成果が見られています。しかし、最近是不審者情報（小中学校の関係のみ）も数件確認されています。

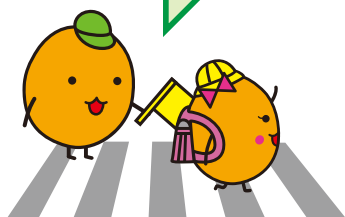
また、一方で、平成28年9月の開始直後は、287人の方が協力してくれましたが、令和元年9月時点では239人と約50人減っています。

活動されている方々の高齢化という課題もありますが、子どもたちの安全・安心のまちづくりに貢献できるように頑張っています。



山田小学校では、見守りをしてくださる方へ感謝の気持ちを込めて、児童の「感謝集会」を開催しています。活動の励みになっています。

山田校区子ども見守り隊では、協力して下さる方を募集しているよ♪
詳しくは自治区の区長さんへ聞いてね!!



他の校区も頑張っているよ!



海老津校区



戸切校区